



2015 年度

## 「勉強に役立つ日本語クラス」 報告書



神戸YWCA学院

日本語コース

# 1, 趣旨

近年、外国にルーツを持つ子どもたち（日本国籍も含む）が増加してきており、義務教育の現場でも無視できない数になっている。日本語を理解しない生徒がクラスにいる場合、ただでさえ忙しい教師がその生徒たちに十分に対応することは、日本語指導の面でもクラス運営においてもなかなか難しいことがわかってきている。

その対応として、県や市からの派遣によるサポーター・システム、教員と児童生徒とのコミュニケーションを支援する「子ども多文化共生サポーター（兵庫県）」や「外国人児童生徒受入校支援ボランティア（神戸市）」があるが、日数も限られていること、そしてこのサポーター・ボランティアは通訳者であって日本語指導者ではない点がネックになっている。サポーターによる日本語指導が学校でなされれば、効果的なシステムといえるのだが、現状はまだそこに至っていない。またある地域では地域ボランティア教室との提携もあり、幸運な生徒は日本語の支援を受けることができるが、時間も限られている。

子どもたちは友だちができれば、意思疎通は何とかできるようになる。すると教師、両親など彼らを取り巻く大人たちは、友だちと話せるようになったから日本語指導の支援は必要ないだろうと考えがちである。これは大きな誤解である。日本語は“話し言葉”と“書き言葉（いわゆる文章に現れる日本語）”が大きく異なる。友だちとのコミュニケーションができてからといって、教科書が理解できるわけではない。彼らに必要なのは、日本語を第二言語としてその構造から学ぶことである。書き言葉の文法や語彙を会得してこそ、教科書が理解できるようになる。

神戸YWCAは1950年代から約60年にわたり日本語教育を行った実績があり、効果的に日本語を指導するノウハウを持っている。地域と共に歩む公益財団法人神戸YWCAのなすべきことは、日本語教育のスキルを社会に還元することであると考えた。そこで、2008年から、夏休みの3週間、集中的に生徒たちが日本語の構造を知り、授業につながる日本語を身に付ける機会として、「勉強に役立つ日本語クラス」（旧：学校に入るための日本語クラス）プログラムを企画、実施している。生徒たちは、資料代のみで授業が受けられ、数学・英語などの科目に必要な日本語も学ぶ。

生徒たちが直面する問題は、言葉の面だけではなく心理面での困惑も大きい。それは、生徒の多くが親の都合などを理由として来日しており、少なからず本人がなぜ日本に来たのかを納得できていないことによる。3週間、同じような境遇の友だちといっしょに勉強すると、YWCAは確実に彼らの「居場所」になる。日本語の理解が不足して学校では堅い表情だった生徒が、ここでは笑顔で、間違った答えも平気で言っている。ほかの皆も同じだから、挑戦しようという気持ちになるのだろう。積極的に授業に参加し、学習が楽しいと思っている様子が伝わってくる。

生徒たちのほとんどは、日本に定住し、将来社会に出ていく。その時に、持てる能力を活かし、日本人と共にこの社会を支える人になってほしい。このような願いから「勉強に役立つ日本語」を実施している。

## 2. 内容

### (1) 対象

来日してから正式な日本語教育を受けていない、13歳から18歳の外国にルーツのある生徒（日本国籍を含む）。

### (2) 日時

2015年8月3日（月）～8月21日（金）

日本語： 9:30 ～ 12:10

科目（国語・数学・英語）：12:20 ～ 13:20



### (3) 学習内容

**クラス1** 短期集中型の日本語初期指導。基礎的な日本語を習得することを目的としている。

**効果** 日本語がゼロの状態に参加した生徒は、文字学習、会話・文法を学び、コミュニケーションができるようになった。読解にも挑戦できるようになった。

**クラス2** 学習言語の指導。学校の授業を理解するための日本語能力を習得する。

**効果** なんとなくわかっているつもりだが実は正確に理解していなかった日本語を、書き言葉を知ることにより、正確な読解につながるようになった。

**共通** 科目指導。科目の用語、指示の日本語などを学び、科目学習につなぐ。

**効果** 例年は科目担当講師が担当するが、今年度は日本語がまだ十分ではないため、クラス1は日本語講師が担当し、科目を素材とした日本語授業を実施した。入門英語を日本語教師によるやさしい日本語で導入したが、大いに理解に役立った。

### (4) テキスト

日本語教育においては、一般人向け、生徒向け、留学生向けなどの様々な種類のテキストが市販されている。このコースでは当初、市販のものを使うようにしていたが、このコースの目的に合致するものがなく、自主教材を作成することにした。それは、以下の考え方による。

日本語教育のプロセスは、初級段階は主に「聞く・話す」を重点的に行い、初級後期から中級になると、「読む・書く」のバランスを増やして、最終的には4技能のバランスのとれた内容へ移行する。この講座の対象者では、「聞く・話す」のスキルが少しできてきている生徒が多い。本来ならば、話し言葉の充実を図り、中級移行を目指すのだが、彼らの喫緊の目標は、教科書の理解である。このことから、学習言語を学ぶための、読むことに重点をおいた教材が必要になった。効果的に教科書を理解するため、多く登場する文法・語彙の選択、生徒たちの関心のある話題、などを盛り込んだものを作成することになった。このような経緯で、2013年度からこのコースでは自主作成のオリジナル教材を使用し、毎年改訂作業を行っている。いかに効率的に授業（テキスト）で用いられている日本語の理解へつなぐか、毎年の課題である。

## (5) カリキュラム表

	8月3日(月)	8月4日(火)	8月5日(水)	8月6日(木)	8月7日(金)
クラス1	名詞文/ 自己紹介(何人) かな・清濁	名詞文 長音・ 拗音、拗長音	(動詞文) / 行きます+時制 カタカナ、長音	(値段) ヲ格 カタカナ	(値段) / 形容詞 カタカナ
クラス2	自己紹介 辞書形/ない形	た形	形容詞/たらても 漢字	名詞修飾 漢字	可能動詞 漢字
教科	英語	英語	英語	国語	数学
	8月10日(月)	8月11日(火)	8月12日(水)	8月13日(木)	8月14日(金)
クラス1	好きです/上手/ わかります カタカナ(ア~サ、 ン、長音) ディクテーション	あります/~つ/ どのくらい カタカナ(タ~ハ) ディクテーション	名詞・形容詞過去 どっち カタカナ(マ~ワ) ディクテーション	ほしい/たいです ~へ~に行く/ 国語 ディクテーション	グループ分け/ て形・くださ い・ています/ ディクテーション {英語}
クラス2	ようになる 漢字	疑問詞か、/かど うか 漢字	~という~ 漢字	~て、~ないで/ 連用中止 漢字	意向形 漢字
教科	国語	国語	国語	国語	英語
	8月17日(月)	8月18日(火)	8月19日(水)	8月20日(木)	8月21日(金)
クラス1	てもいいですか/ ない形/ないでく ださい ディクテーション {英語}	て形・ない形復習 /なければなりま せん 漢字入門(1) {数学}	辞書形・辞書形+ のがすきです/普 通体现在 ディクテーション {数学}	た形/~たり~た り/普通形過去 {数学}	~たことがあります 漢字入門(2)
クラス2	複合動詞 漢字	ていく/てくる 漢字	たら・ても 詩 漢字	接続の表現 詩 漢字	受け身(中立)
教科	英語	数学	数学	数学	修了式

## (6) 授業見学

最終日の8月21日に授業見学日を設けた。子どもたちの所属学校の先生、ボランティア教室の指導者の方々に子どもたちの日本語授業を見学していただいた。

今年は5人の先生方が見学された。「学校のときよりよく話すのでびっくりした」「楽しそうな表情だった」などの感想を伺うことができた。

普段と異なる生徒の状況を知ってもらうのにより機会となった。

## (7) 年間を通じた支援 “はっぴー・すくーる” “はっぴー・さぽーと”

「勉強に役立つ日本語クラス」が修了した後も年間を通じた支援を続けている。

月1回、第2土曜日に実施している「はっぴー・すくーる」は、クラスを修了した子どもたちが再び神戸YWCAに集う居場所づくりを目指す。通っている学校の様子や進学についておしゃべりをしたり、みんなでゲームをしたりして楽しい時間を過ごす。

また、毎週土曜日に開催されている「はっぴー・さぽーと」は、苦手な教科を日本語指導のできる教科担当教師と共に学んでいる。

このように、「勉強に役立つ日本語クラス」が修了した後も継続的なプログラムを実施することで、子どもたちがのびのびと自分らしくいることができる環境づくりを行っている。



## (8) 文化庁委託事業関連

神戸YWCAは外国人との共生をテーマに、文化庁より「生活者としての外国人」のための日本語教育事業を受託している。

今年度は勉強に役立つ日本語クラスに参加する生徒たちも、以下の文化庁委託事業関連イベントに参加し、日本の夏祭りを楽しみながら経験した。神戸YWCAのある地域の人々との交流もできた。

### ○二宮市場 夏祭

8月 1日(日) 神戸YWCAの生徒はポップコーン売場を担当した。

### ○若菜地区 夏祭

8月 23日(日)

本番に先立ち、盆踊りの練習に参加した。

所属中学からこのイベントに参加した生徒もいて、

祭りの初めから最後まで準備や後片付けに活躍していた。



## (9) 課題

プログラム終了後にも、本プログラムへの問い合わせが数件あった。

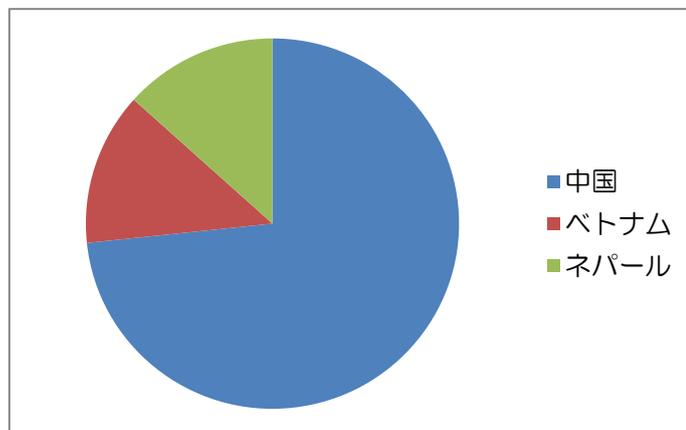
主な内容は、プログラム開始以前に来日していたのにこのプログラムを知らなかった、というものだった。各方面に広報し周知する努力を行っているものの、まだまだ不足であると感じた。

また、来日したばかりだが日本語コースに参加できないかという内容の問合せもあった。本プログラム実施時期でなくても初期指導ができる体制、例えば春休みや冬休みなどの長期休暇ごとに本プログラムが実施できるようにすることも今後必要になってくると考える。

### 3. 参加者、国籍等（15人）

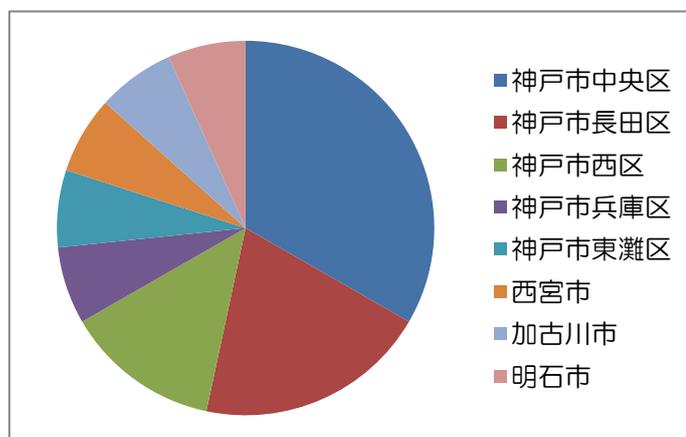
#### （1）国籍

- 中国・中国語 11人
- ベトナム・ベトナム語 2人
- ネパール・ネパール語 1人
- ネパール・英語/日本語 1人



#### （2）地域

- 神戸市中央区 5人
- 神戸市長田区 3人
- 神戸市西区 2人
- 神戸市兵庫区 1人
- 神戸市東灘区 1人
- 西宮市 1人
- 加古川市 1人
- 明石市 1人



#### （3）学習者の集め方

- ・所属学校からの申し込み
- ・地域ボランティア教室、兵庫県国際交流協会、神戸市教育委員会などの機関からの紹介
- ・保護者からの申し込み

## 4, 実績

### (1) 出席状況

出席率 86%

主な欠席理由は、病欠や学校の登校日。

学校手続等の一時帰国のため、途中参加になった生徒も2人いた。

### (2) プレイメントテストについて

より効果的なクラス編成のために、申込者にプレイメントテストを実施した。

内容は、①ひらがな(50音・拗音)、②文法、③インタビューの3種類からなる。

今年度の申込は23人あり、うち15人で2つのクラスを作った。

日本語レベルはそれほど十分ではなく、あと一步の支援があれば日本語に自信が付き、学習面でも持てる能力を伸ばせるだろうレベルの7人は、申し訳ないがお断りせざるを得なかった。

今すぐに支援が必要な生徒を対象とした2クラスのみには絞らざるを得なかったのは、非常に残念なことである。

### (3) 学習者の声

最終日、修了式の時にそれぞれの感想を聞いた。生徒たちが口ぐちに「楽しかった」「面白かった」と答えていたのが印象的だった。

また、ある生徒の保護者から「子どもは日本語ができないために学校になじめず学校から足が遠のいていたが、YWCAで日本語の構造を学んで理解が進み、友達とコミュニケーションができるようになり、また教科にも自信が出来てきた、感謝したい」とのメールを受け取った。

このプログラムが確かに役に立っていると実感できることは大きな励みになる。

### (4) 先輩の進学先

神戸YWCAレギュラーコース等を経て...

県立国際高校	県立東灘高校	徳島大学
県立神戸甲北高校	県立長田商業高校	甲南大学
県立西宮香風高校	県立芦屋国際中等学校	立命館大学
県立尼崎工業高校	県立芦屋高校	神戸大学工学部
県立舞子高校	兵庫県立大	鳥取大学 ほか

毎年行われる、神戸市教育委員会・兵庫県教育委員会主催の進学ガイダンスでは、来日して日本語を学び高校へ入学した生徒たちのスピーチを聞くことができる。毎年、神戸YWCAに関わった生徒たちが、自身の体験を後輩に語りかけている。

## 4. 後援・協力団体等

### (1) 後援

神戸市教育委員会 兵庫県教育委員会

### (2) 協力団体

NPO法人 フリーヘルプ 株式会社 上野商店

### (3) 寄付

#### ◇寄付者名（個人）

亀岡恒雄 後藤安子 関正敏 田中泰次 谷合義旦 中川一夫  
長澤毅 藤本紀子 李初容 匿名

#### ◇寄付者名（団体）

NPO法人 フリーヘルプ

(2015年4月1日～8月31日現在)

### (4) 主な経費について

#### ○講師給

日本語指導のスキルを持つプロフェッショナルな日本語教師により、日本語を第二言語として効果的に指導する体制での実施が必要である。

#### ○テキスト作成費

前述のように、この講座で使用するテキストは、神戸YWCAが独自に開発したオリジナルのものである。これは、日本語を学ぶ一般人向け、あるいは子ども向けのテキストでは代用できない。長年の日本語教育における経験に基づいた独自の視点で、編み出されたテキストが大いに役立っている。

#### お問い合わせ

### 神戸YWCA 学院 日本語コース

〒651-0093 神戸市中央区二宮町 1-12-10  
tel. 078-231-6303 fax. 078-231-6692  
e-mail: saito@kobe.ywca.or.jp  
www.kobe.ywca.or.jp

## YWCA

(ワイ・ダブリュー・シー・エー  
(Young Women's Christian Association)) は…

キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際 NGO です。